

「社会にとって必要不可欠な企業グループを目指して」



企業メッセージの意味するもの

コニカミノルタグループは、その存在意義をあらゆる企業メッセージとして「The essentials of imaging」を掲げています。これは、「イメージングの分野で、必要不可欠な企業グループを目指す」という意味が込められていますが、私は、「社会にとっても必要不可欠な企業グループ」になる、という思いも込めています。これは、CSR活動の理念と共通する概念であり、今、この実現に向けて努力を重ねているところです。

CSR^{*1}は経営そのもの

当社グループは、2003年8月の経営統合以来、世界中のステークホルダー^{*2}の方々からの信頼をいただくことを念頭においた経営理念をかかげ、さらに全世界の当社グループ社員が等しく共有する行動憲章を策定および実行することで、公正で透明な経営をめざしています。

近年では、「社会的有用性」が、企業経営を考える上で最も重要な要素の1つになってきています。それは、この「社会的有用性」や、ステークホルダーの方々から寄せられる支持や信頼の蓄積が、経営目標である「企業価値の向上」につながっているからです。

将来にわたってステークホルダーの方々への期待に応えていくためには、企業としての成長が不可欠です。その際に重要なのは、経済、社会、環境など、幅広い分野で企業としての責任を果たしていくことであり、そのことが将来にわたる成長を可能にし、結果として企業価値が高まることになると考えています。

このように、CSRの理念は、私が目指している経営そのものといっても過言ではありません。

CSRをグループ経営の基本方針として位置づけるこのような考え方を経営において実践し、また、グループをあげて達成に邁進する環境をつくるため、



2006年度を起点とするグループ中期計画に「グローバルに通用するCSR」の考え方を、経営の基本方針として盛り込んでいます。

今後の当社グループの成長戦略を描く上で、CSRの取り組みがその成長を確かなものにするために不可欠な経営方針の1つであることを、すべてのステークホルダーの方々と共有し、実践していく強い決意の表れとご理解いただきたいと思います。

CSRレポート2006について

当社は、2005年度、創業以来の事業であったフォト事業を終了させるという、大変苦しい決断を行いました。長きにわたって、当社フォト製品を愛用してくださった方々に心よりお礼を申し上げますとともに、今後の成長に向けて全社一丸となって注力する所存です。

さて、フォト関連商品を通じたステークホルダーの方々と当社の接点が少なくなるなか、当社の活動をご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、このCSRレポートは今まで以上に重要な存在になると考えています。当社グループの事業活動を通じてステークホルダーの方々および社会に広く貢献し、共に発展できる企業となるためには、より一層の密度の濃いコミュニケーションに



よって、さらなる信頼関係を構築することが重要と考えています。

この報告書が、その実現に向けて大きな役割を果たしてくれることを心から願っています。

2006年6月

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長

太田義勝

*1CSR：Corporate Social Responsibility（＝企業の社会的責任）の略。コーポレートガバナンス（企業統治）情報開示などが、一般に企業が社会に対して果たすべき「責任」ととらえられているが、解釈は様々。コニカミノルタでは「社会から信頼を得ること」ととらえている。

*2ステークホルダー：株主・顧客・取引先・従業員・地域住民など、企業活動を行う上でかかわるすべての利害関係者。